

TZ 〈ほんの窓〉

第14号(2008.3.3) 一橋大学附属図書館高本善四郎氏助成図書コーナー「本の紹介」班

「歌」の意味

「歌う」＝メロディに歌詞をのせ声を発するという行為は、自分の体のみで行える身近な音楽行為のひとつですが、「歌」はその文化的・社会的脈絡に位置づけることによって、その歌が属する文化や社会の特徴を示すものであり、そのリズムや言葉、声によって、感情を表現しうるコミュニケーション手段でもあります。人はなぜ歌うのでしょうか。歌の根源的な意味とは？ 今回の展示では、人間と歌の関係に焦点をあてます。

諸民族・地域の音楽文化と歌

人間の生活の中には、多様な音楽的事象が存在しますが、文化・地域・社会的背景によって音楽のもつ役割や機能、位置づけは同一ではありません。固有の音楽様式が伝承される文化や地域において、歌はどのような役割を担ってきたのでしょうか。

書名	書誌事項	請求記号
人間の音楽性	J.ブラッキング著；徳丸吉彦訳. 岩波書店, 1978.11	7600:264
フィールドワーク：人はなぜ歌をうたうか	小泉文夫著. 冬樹社, 1984.10	7600:347
鳥になった少年：カルリ社会における音・神話・象徴	スティーン・フェルド著；山口修 [ほか]訳. 平凡社, 1988.8	Pd:550
霊のうたが聴こえる：ワヘイの音の民族誌	山田陽一著. 春秋社, 1991.8	3800:1252
声の力：ボルネオ島プナンのうたと出すことの美学	ト田隆嗣著. 弘文堂, 1996.10	7600:295
アリランの歌：韓国伝統音楽の魅力をさぐる	草野妙子著. 白水社, 1984.10	7600:781
聲	川田順造著. 筑摩書房, 1988.2	778:283
ロシア民謡の歴史：民族と風土のうたごえ	北川剛著. 音楽之友社, 1968.7	7600:81
中国の庶民文藝：歌謡(うた)・説唱(かたりもの)・演劇(しばい)	澤田瑞穂著. 東方書店, 1986.11	9200:65
インド音楽序説	B・C・デーヴァ著；中川博志訳. 東方出版, 1994.8	7600:787
民衆のいる音楽：太鼓と合唱	江波戸昭著. 晶文社, 1981.1	Pd:393
呼吸する民族音楽	小泉文夫著. 青土社, 1983.5	7600:163
民族音楽の旅：音楽人類学の視点から	藤井知昭著. 講談社, 1980.2	Pd:201

変容する音楽

音楽は様々な要因によって創造と消滅、変容を繰り返してきましたが、20世紀という時代は、それを加速的に推し進め、多様な音楽文化を生み出しました。文化的・社会的環境の変化は歌にどのような影響を与えたのでしょうか。

書名	書誌事項	請求記号
ストリートの歌：現代アフリカの若者文化	鈴木裕之著. 世界思想社, 2000.3	3610:2634A
ビートルズの研究	イアン・イングリシ編；村上直久, 古屋隆訳. 日本経済評論社, 2005.6	7600:598
近代日本の心情の歴史：流行歌の社会心理史	見田宗介〔著〕. 講談社, 1978.4	0800:34:249
ブルースの魂：白いアメリカの黒い音楽	リロイ・ジョーンズ〔著〕；上林澄雄訳. 音楽之友社, 1965.12	7600:95
トロピカーリア：ブラジル音楽を変革した文化ムーヴメント	クリストファー・ダン著；国安真奈訳. 音楽之友社, 2005.11	7600:645
非西欧世界のポピュラー音楽	ピーター・マニユエル著；中村とうよう訳. - 改訂第2版. ミュージック・マガジン, 1995.11	7600:788
鳴り響く性：日本のポピュラー音楽とジェンダー	北川純子編. 勁草書房, 1999.9	7600:515
事典世界音楽の本	徳丸吉彦〔ほか〕編. 岩波書店, 2007.12	7600:780 (禁帯出)

人のからだと歌うこと

人が歌うとき、あるいは歌を聴くとき、人間の心と体には何が起きているのでしょうか。そのメカニズムを脳の仕組みや心理学的視点から捉えた文献を紹介します。

書名	書誌事項	請求記号
歌うネアンデルタール：音楽と言語から見るヒトの進化	ステイーヴン・ミズン著；熊谷淳子訳. 早川書房, 2006.6	4600:499
音楽する脳	ウィリアム・ベンゾン著；西田美緒子訳. 角川書店, 2005.12	7600:779
音は心の中で音楽になる：音楽心理学への招待	谷口高士編著. 北大路書房, 2000.3	7600:778
情動と音楽：音楽と心はいかにして出会うのか	国安愛子著. 音楽之友社, 2005.11	7600:620
眼と耳：見えるものと聞こえるものの現象学	M.デュフレンヌ〔著〕；棧優訳. みすず書房, 1995.8	7000:20